2018年（平成30年）12月１日発行　岐阜県プラスチック工業組合会報

第234号

岐阜県のプラスチック

・大垣市体育館で岐阜テクノ開催、工業組合も後援
└組合から青年部と4社参加、ものづくりを発信┘

・視察研修会はトヨタ博物館と碧南の日進工業㈱

・射出成形の検定合格者は１級15人、２級28人

・新年互礼会は１月25日（金）岐阜グランドホテルで開催
└デミング賞の日立オートモティブの大沼さんを招く┘

大垣で開かれた岐阜テクノの会場

大垣体育館で岐阜テクノフェア開催

伝統技術から先端技術まで集結

組合から青年部と４社が参加し発信

“夢を実現、いま伝統技術から先端技術まで集結”を開催テーマにした『ものづくり岐阜テクノフェア2018』は10月19日から２日間、大垣市総合体育館で開かれた。８回目になる岐阜テクノフェアは、県内主要都市を回り持ちで開催している県産業最大の産業展。

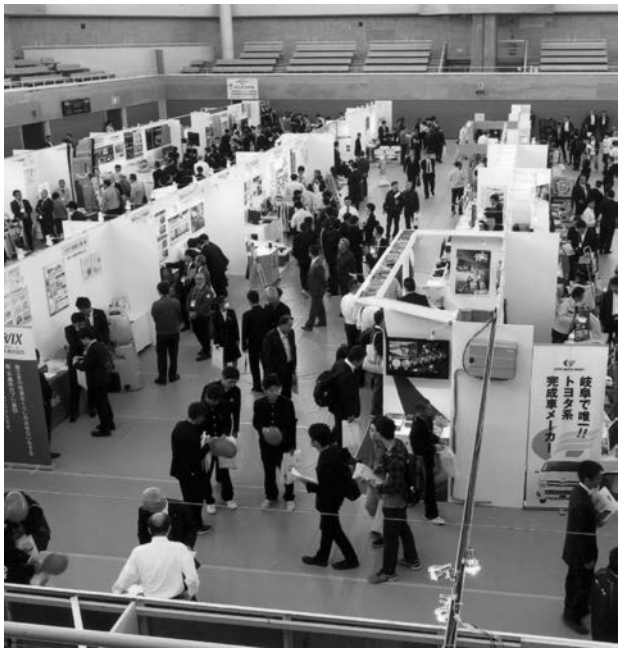
岐阜県工業会が主催し、岐阜県はじめ37の関係機関・団体が後援、当工業組合も後援するとともに出展参加し、プラスチック成形加工業界のものづくり技術をアピールした。

テクノフェアにロボフェス加わる

主会場は総合体育館の159小間に企業や研究機関が展示，ソフトピアジャパンセンターのセミナーホールでは記念講演会も行われた。参加したのは一般展示76企業、未来を拓くエネルギー展11企業、行政・研究機関15団体、大学・学校関係５団体の合計107機関・団体・企業。

展示会場は企業ゾーン、研究機関ゾーン、セミナー会場に分かれ、１日ずらして大垣市政100周年記念行事のロボフェスおおがきが加わり、市民・学生・児童ら若い世代で賑わった。

企業ゾーンは開催都市の産業構成によって特色が現れ、大垣開催ではソフトピア進出企業や



組合員の小間を上から見た展示ゾーン

組合員企業の展示小間。左からコダマ樹脂工業㈱、岐阜プラスチック工業㈱、組合青年部

組合青年部の出展ブースで幹部を激励する児玉理事長

関連産業の展示が多かった。とくに◇ロボットを組み込んだ設計・製造やシステムの出展◇搬送ロボットの実演とシステム紹介◇自動化した熱処理システム◇ドローンを活用した薬剤散布や空撮・編集◇ＩｏＴ・ＩＴの活用 ・ 紹介と技術者の養成―など。これに負けじと、自動車関連、機械金属加工など、岐阜県七大産業の代表企業が参加、新製品 ・ 新技術を紹介した。

青年部が異業種交流の成果展示

組合員企業の出展は４社と組合青年部で、合計９小間を占めた。

コダマ樹脂工業㈱は、クリーン環境で成形した各種多層容器と大型ブロー成形機で製造した新型２段式雨水タンクを出展。㈱オンダ製作所は生活環境に欠かせない水・温水などの各種配管資材を展示、暮らしに役立つ関連開発商品やジョイント ・ ポリエチレン管を展示した。

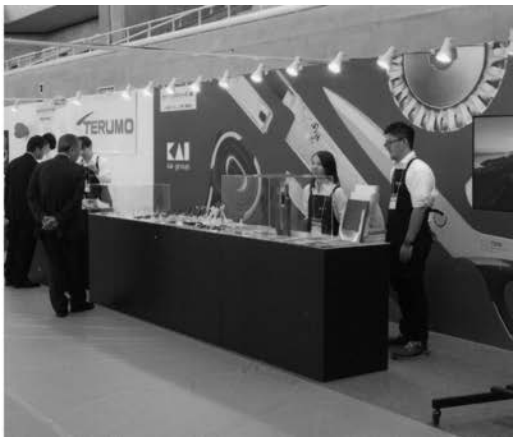
岐阜プラスチック工業㈱は２小間に新工場で量産開始した新資材テクセルを用途開発し、防音パネル使用例を説明した。カイインダストリーズ㈱は３小間を確保し小間のデザインで目をひいた。カミソリ、ツメキリから新分野のメディカル用品まで、伝統技術から生まれた製品を売り込んだ。

工業組合青年部は、組合創立50周年の一環として実施した製品開発の成果を展示した。テーマはプラスチックと陶磁器を組み合わせたテーブルコーディネートで、異業種交流によるプラスチック加工の可能性をアピールした。

来春にはものづくり拠点が完成

行政・研究機関の展示は第２体育館で開かれ、技術や研究成果を披露、行政は産業振興や企業誘致の実情を紹介した。

ものづくり岐阜県の新しい拠点となる産業技術総合センター（仮称）は、来春に完成・移転する。そのせいか県関係研究機関の展示会場では、研究成果発表の説明に力が入っていた。



組合員企業の展示小間、㈱オンダ製作所と３小間に出展したカイインダストリーズ㈱

愛知で視察研修会を実施 ・ トヨタ博物館と日進工業㈱

IoTを活用した成形加工システム

日進の多品種変量生産施設を見学

工業組合の視察研修会は11月６日、長久手の『トヨタ博物館』と碧南・武豊の『日進工業㈱の２工場』を見学した。午前はトヨタ博物館を訪問、50周年記念事業の講演会講師・布垣直昭さんが館長を務める日本最大の自動車博物館。午後は自動車部品の加工、組立、溶着を行う先進の成形工場を見学した。視察研修には児玉理事長ら20人が参加、次は同行記。

世界の車を動態保存する

トヨタ博物館は自動車文化の交差点

○…トヨタ博物館はトヨタ自動車が創立50周年を記念して平成元年（1989）に創立、本館と新館合わせ世界の車140台（現在160台）を所蔵、自動車誕生以来の歴史を展示している。

昨年の改装で、本館２階・３階の外国車が増え、大戦後の日米欧自動車文化の進展や変遷、多様化を理解できた。展示の他にイベントも企画され、とくに年２回の「クラシックカー・フェスティバル」の紹介には興味をそそられた。

学芸員は「他の博物館にはない内外の自動車を一堂に展示し、しかも整備・動態保存しており、生きた車を伝承している」と話していた。

上は2000GTスポーツカー、13の国際記録を持つ
下はベンツヴェロ、1894年・史上初の量産輸出車

トヨタ博物館のシンボルカーの前で記念撮影。昭和11年（1936）に開発 ・ 国産化したＡＡ型乗用車

自動車部品の成形システムの仕組みを聞く。上は稼働状況をリアルタイムに表示するディスプレイ

情報を活用し生産性向上

究極の生産効率化目指す長田社長

○…一行は昼食と休憩で中部空港を経由し、名古屋南部に完成している名神・東名・環状道・知多道、さらには衣浦トンネルを通るなど、自動車道を乗り継いで碧南市へ到着した。日進工業㈱は昭和20年に織布工場で創業、昭和40年に法人化、成形加工で再出発した。本社・工場は衣浦臨海工業地帯にあり、一行は長田和徳社長ら関係者に迎えられ会社概況を聞いた。

長田社長は「自動車用成形部品に取り組み40年を経過した。この間“品質とコストで顧客の信頼に応える”を経営方針に、生産工程の研究・開発を進め“現場とIoTソリューションをジョイントしたIoTを事業化”し、昨年は経済産業省の“はばたく中小企業300社”に選ばれた」とし①自動車部品の軽量化・高機能化にエンブラ成形部品を供給②ソフト開発し全工場の成形機をネットでつないだシステム③樹脂流動解析の活用―など生産効率化への過程を説明した。

国内２工場と中国３工場で操業

○…工場は碧南の本社工場と３年前に操業開始した武豊工場、他に関連会社として金型設計・製作とソフトウェア開発会社、海外工場は中国に３工場がある。

成形機は本社の110機をはじめ全社で270機を保有(大半が30㌧から230㌧、武豊では400㌧級)し、組立・溶着などの二次加工を行うことから組付け機120台がある。従業員はシステム化で派遣社員中心に減少し国内が250人、海外590人で、今後は定着率の高い正社員を増やすという。

従業員構成は25歳以下の比率が高いので技術レベルは低く、プラの塾、中国では教育道場を設け、技術力向上へ社内教育を進めている。

本社研修室で長田和徳社長から成形システムの詳細を聞く。武豊工場では補足説明を聞いた

新設の武豊工場へ到着した視察研修会の一行と製品の展示

全成形機の稼働を把握

○…長田社長の詳細な説明と本社工場見学の後、成形工程を無人化した武豊工場を見学した。操業中の多品種変量生産システムは、タブレットやスマホでネットにつなげ、市販のディスプレイを使って表示している。自動化で稼動状況や在庫、出荷もリアルタイムに把握できる。設備効果はチョコ停止時間34％低減、総停止は60％低減した。データ収集は成形機の開閉から得る方式で、どんな成形機でも使用でき、長田社長は開発した中小企業向けデータ収集機「ＭＣＭ」の試用を推奨していた。

バス車中でも研修行う

○…研修会には杉山、田中副理事長も参加し「中小企業が導入し易いシステムを見学でき、IoT や IT化を身近に感じた。経営に役立てたい」と話していた。また工業組合が新年に研修委託するソフトピアジャパンの専門職員も同行し「IoT ／ IT 研修会」の詳細内容も聞いた。

「売れるものづくり」で商品開発プロセスの勉強会を開催

組合青年部・３回にわたり青年部研究会事業に取り組む

工業組合青年部（武藤修平部長）は今年度も中小企業団体中央会の補助事業「青年部強化支援事業」の指定を受けて研究会事業に取り組み、多くの商品開発プロセスを学んだ。

社内の開発担当教育に役立てる

研究会は講師に㈱ソルトコの福嶋賢二代表を招いて７、８、９月の３日間、岐阜市で開催した。テーマは「商品開発のプロセス～売れるものづくりとは…」で①第１回は講師から商品開発や企業連携についての事例紹介②第２回はマーケティング発想からコンセプトづくり③売れるものづくりの最終回として、商品開発の方向性を検討、新製品づくりのポジショニングを作成―するなど、学ぶことが多かった。参加した青年部員は「研究成果を自社へ持ち帰り、開発担当社員の教育に役立てたい」と話していた。

次は各研究会ごとの主な内容と成果。

《第１回》 青年部員が自社で抱えているものづくりの課題を明らかにし、強味を見いだすことを勉強した。講師がスライドで説明する「レジャーシートの価格設定とデザインを見直した」「子供向け工具セットを親子で楽しく使えるようにデザインを統一した」の成功２事例をもとに、マーケティングの４Ｐ「製品・価格・流通・プロモーション」の大切さを学んだ。

グループ別に研究した部員

《第２回》「自社の目標と想いを描き、自社の居場所確認」をテーマに、販路やターゲットの設定に必要な考え方を練習した。練習によってアイデアの出し方のコツを覚えた。

とくに「質より量、最初に出てくるアイデアに満足せず、良いアイデアを出すために考え続けてほしい」と講師は強調していた。

開発の最終はマーケットにあり

《第３回》 最終回は「自社が求める方向を定め、身の丈に合った開発目標の設定」で、商品開発は製作して終わりではなく、マーケットへ伝えることが重要であることを学んだ。

デザインや商品開発はセンスというが、講師は「センスは元々身に付いていない。知識や情報の収集成果である」ことも明らかされた。

電動成形機の操作を克服し全国平均を上回る
射出成形の検定合格者は1級15人、2級28人

平成30年度前期技能検定の『プラスチック成形・射出成形作業』の合格者発表があり１級は15人、２級は28人が合格、いずれも全国平均合格率を上回った。岐阜県で誕生した技能士は１級300人、２級は1000人の大台へあと一息へと迫り、ものづくり成形加工業界の技術水準アップへ大きく貢献することになる。

技能士１級300人、２級1000人へ

本年度前期技能検定『射出成形作業』の合格者は１級15人（組合員企業９人）２級は28人（組合員企業16人）が合格した。

学科・実技検定全体の合格率は１級が50.0％の好成績、２級も学科・実技ともで41.2％の好成績を収めた。

この結果、岐阜県で誕生した射出成形技能士の累計は１級299人、２級997人に達し、次年度の検定時には１級300人、２級は1000人の大台を超える技能士誕生が予測される。

次は工業組合員関係の合格者。

≪１級技能士合格者≫

関根　朝喜（岐阜プラスチック工業㈱）
吉浦　武志（関ケ原プラ工業㈱）
内山　健輔（㈱カテックスエンジニアリング）
川出　和紀（㈱中部合成）
深尾　広徳（ムトー精工㈱）
舩津　好弘（ムトー精工㈱）
大角　慎治（コダマ樹脂工業㈱）
大脇　正哉（㈱フクシマ化学）
柴田　　勝（㈲ムトー枝研）

≪２級技能士合格者≫

穂積　郁郎（岐阜プラスチック工業㈱）
小森　一弘（岐阜プラスチック工業㈱）
高島　央敬（岐阜プラスチック工業㈱）
堀　　充宏（ムトー精工㈱）
今居　大知（岐阜プラスチック工業㈱）
竹中　　健（コダマ樹脂工業㈱）
古田　弘樹（㈱古田製作所）
二村　勇太（髙安㈱）
杉山　朋広（岐阜プラスチック工業㈱）
平工　亮介（岐阜プラスチック工業㈱）
山田　　秀（岐阜プラスチック工業㈱）
葛谷　豪博（髙安㈱）
佐藤　雅也（西濃化成㈱）
松岡　祐太（岐阜産研工業㈱）
市原　直樹（リス㈱）
石田　博文（㈱フクシマ化学）

ブロー成形と金型も検定
30年度の後期技能検定を実施

平成30年度後期技能検定の『プラスチック成形ブロー成形作業』と『プラスチック成形用金型製作作業』は１月～２月に実施する。

検定会場は、ブロー成形作業がこれまでと同じコダマ樹脂工業㈱本社工場で、また成形用金型製作作業はムトー精工㈱本社工場で行う。

この他、プラスチック関連職種の特級『プラスチック成形』『機械検査』をはじめ１・２級の『機械検査』『機械・プラント製図』などの技能検定も例年通り行われる。

学科試験は２月３日（日）に特級と金型製作の１・２級、ブロー成形は２月10日（日）に実施する。合格者発表は３月15日（金）の予定。

前期技能検定実技試験を終えて

首席検定委員　長屋 喜八

検定機が電動化されて３年目、受検者の多くは取り扱いに慣れてきた。とくに受検番号Ｃ（学科試験免除、実技試験のみ）の合格率が高く、１級60％、２級では64％も合格した。このため全体の合格率を押し上げて全国平均を上回る好成績となり、事前説明や確認講習の充実が実を結んできたようです。

例年目立っていた制限オーバーによる失格者は、減少したもののまだ多く、４人に１人は時間オーバーの減点でした。試験制度だから、制限時間内に作業を終わることは基本です。どの作業に、どれくらいの時間をかけるか、時間割を作ることも重要です。

常に見る目を養い、成形品を見てどこに不良原因があるのか見極め、対応してほしい。

ゼロから出発の体験でした…

高安㈱　葛谷 豪博

自社の樹脂部門はリサイクル樹脂を製造しています。社内での射出成形はＬＯＴ検査、物性試験、調色が主で、お客様の射出成形にも立ち会います。

数年前のこと、成形に立ち会った際、何もアドバイス出来ず悔しい思いをしました。これが技能検定を受けようと思った最初のきっかけです。当時は、射出成形の知識はなく、ゼロからの出発でした。社内で聞ける先輩は居らず、外部研修や教材を基に、成形操作を確認し、基礎知識を身につけました。

検定には何回も落ちて苦労の末、努力が実り、合格しました。技能検定を通して得たことは多く、今まで以上に顧客サービスが出来るようにと、頑張っている毎日です。

職業能力開発促進大会開催

技能検定成績優秀者らを表彰

岐阜県と職業能力開発協会は11月20日、ぎふ清流文化プラザで『第39回岐阜県職業能力開発促進大会』を開いた。岐阜県知事表彰に続いて職業能力開発協会長表彰が行なわれ、工業組合関係から３人が技能検定成績優秀者として表彰された。次は工業組合関係の受賞者。（敬称略）

岐阜県職業能力開発促進大会の表彰式

《協会長賞 ・ 技能検定成績優秀者》

◇29年度後期 ・ 特級プラスチック成形
　中井　均哉（コダマ樹脂工業㈱）

◇30年度前期 ・ １級プラスチック射出成形
　吉浦　武志（関ケ原プラ工業㈱）

◇30年度前期・２級プラスチック射出成形
　山田　　秀（岐阜プラスチック工業㈱）

表彰式の後、飛騨産業社長の岡田贊三さんが『よみがえる飛騨の匠』をテーマに講演をした。

岡田さんは大正時代に飛騨産業創立に携わった父親の意志を継いで転職し、2000年に社長となり、同社を再生した有名な経営者。講演は由緒ある飛騨産業の再興にまつわる話に続いて「飛騨職人学舎」を創設し、飛騨の木工文化を担える飛騨の匠づくりの話があった。

名古屋で中部業界懇談会開催

外国人技能実習も話合う

懇談に先だち名古屋プラ展見学

中部地区４県のプラスチック成形加工団体は、10月31日、名古屋国際ホテルで第９回中部地区業界団体懇談会を開催した。参加団体は中部日本プラスチック製品工業協会を中心に岐阜県プラスチック工業組合、富山県プラスチック工業会、石川県成型加工工業協同組合、愛知県プラスチック成形工業組合の代表30人。当工業組合から児玉栄一理事長と杉山元彦、田中肇両副理事長が出席した。（写真右は懇談会と組合役員）

課題は人不足、人材養成、原料高

懇談会は名古屋プラスチック工業展見学後、国際ホテルへ移り、横山真喜男中部日本プラスチック製品工業協会会長の司会で懇談した。テーマは①各県業界の近況②外国人技能実習生の受入れ状況―で次は主な懇談内容。

《各県業界団体の近況》

◇岐阜県の工業組合は創立50周年後のあり方として、IoT・IT・AIへの技術者研修に取り組む。県が大垣にあるソフトピアジャパンを拠点に進めるIoTコンソーシアム事業に呼応し、先進企業視察、続いて専門家による研修事業を進め、順次、生産性向上、さらに人材のスキルアップにつなげていく方針。

◇富山では労務研修に力を入れ、定年延長後の賃金格差などで３回開いた。人不手足テーマでは富山大学と連携しリーダー養成事業、ものづくり見本市では製品売り込みではなく、大学生や高校生対象に業界への関心を高めていく。

◇石川の求人倍率からみた人手不足状況は、全国４位の岐阜県に次ぐ５位。現状は新幹線工事や観光産業に人が流れ、プラスチック業界を見向いてくれません。企業の経営環境をよくし、健康経営に取り組み、問題を解決したい。

◇安城ではものづくり展開催に、大学生や高校生に来てもらえる土・日曜日をお願いした。

◇愛知の技能検定は、今年も大量受検者数で１級243人（23％合格）２級は576人（25％合格）でした。後期検定はブロー成形１級で６人、２級18人が受検する。

◇全国業界では四半期ごとにアンケート調査をしている。新しい動きは従業員300人以上の企業は原材料費横ばい、300人以下の企業は原材料費上昇と答え、中小企業は原材料費の高騰で経営に苦しんでいることが分かった。

将来を見越した法律改正を望む

《外国人実習生の受入れ状況》

◇中国からの実習生は減少し、東南アジアからの実習生が増加してきた。

◇中国人実習生は、日本で働くメリットは少ないとする人が多く、採用は年々難しくなった。

◇来日して日本語を学ぶ意欲はインドネシア人やミャンマー人実習生が高かった。

◇３年で帰りたくない実習生や延長希望の実習生も多く、将来を見越した法律改正を望む。

理事会を開催し後期の運営協議　IoT 研修の事業化で講話を聞く

工業組合は９月７日岐阜産業会館で理事会を開き①50周年事業報告②新年互礼会開催③IoT関連研修と企業視察④初任者研修会実施⑤親睦ゴルフ大会の開催―など後期事業運営を協議した後、服部清ソフトピアジャパン・ＩＴものづくりセンター長の講話を聞いた。（写真右）

協議の結果、IoT 関連研修は新規研修事業として実施、恒例の各事業は後期事業の中で順次、実施していく。IoT 研修事業は「岐阜県 IoT コンソーシアム」（協会・組合）が設立スタートしたのを機会に、成形加工業界も IoT （ものづくりをネットにつなぐ）IT（情報技術）AI（人工知能）などの研修をうけて導入・活用し、生産性向上や新製品の創出に役立てていく。

理事会は服部ものづくりセンター長から説明を受けた「IoT支援」をもとに、新年１月に「製造現場の可視化」２月に「ムダ取りへの挑戦と動画の活用」をテーマにIoT研修を決めた。

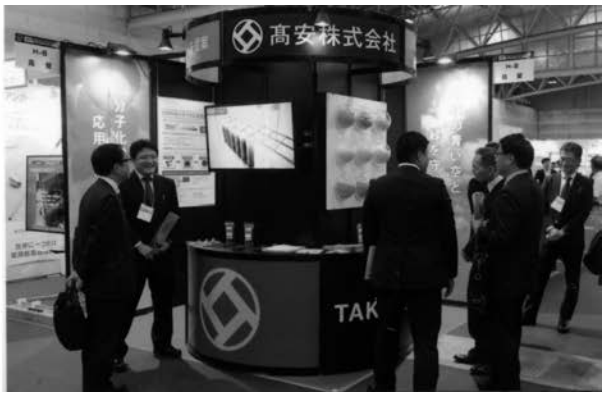
名古屋でプラスチック工業展
新たなものづくり探る
組合も協賛・２社が出展

『2018名古屋プラスチック工業展』は10月31日から３日間、ポートメッセなごやで開かれた。“世界市場で勝つ、ものづくりとは”がテーマのプラスチック産業展で日刊工業新聞社、中部プラスチックス連合会、中部日本プラスチック製品工業協会３団体で開催、当組合も14関連団体とともに協賛し、組合員２社が出展した。

会場はリーマン回復景気と米国発の貿易戦争が始まり、さらに人不足が叫ばれる中で、新しいものづくり産業をめざす産業人で賑わった。

注目は高性能な電動射出成形機

今回の出展は138社・団体、446小間、主催者は、会期の参観者は２万人を超えると話す。注目されたのは、やはり実演する電動射出成形機と周辺機器、３Ｄ加工機で、ソフトウエアも注目された。今回は新素材関連の講演会やセミナーも多く、より強度かつ軽量な材料を求める自動車や航空機関連企業から関心を集めた。



組合員２社の小間。テクセルを出品した岐阜プラスチック工業㈱とタナジン樹脂出品の高安㈱

新年互礼会は１月25日（金）

金型と共催し新時代展望

岐阜グランドホテルで開催

工業組合は新年１月25日（金）岐阜市長良川河畔の岐阜グランドホテルで『新年互礼会』を開催する。例年どおり金型工業組合と共催し、成形加工と金型加工の両業界が交流・親睦を深める。とくに新年は平成最後の年、新しく新元号がスタートする意義ある年であり、この機会に新時代の業界のあり方を展望していく。開会は午後４時30分を予定している。

デミング賞の大沼さんを招く

互礼会の講演は今年度の「デミング賞本賞」を受賞した日立オートモティブシステムズ取締役会議長の大沼邦彦さんを招き『自動車新時代の到来と企業の対応』を聞く。大沼さんは設計技術・システムづくりの最高責任者で、経営者として品質管理の普及・発展、人材育成に貢献され、デミング賞の本賞に輝いた。またシステムは自動車メーカーの車づくりに貢献した。

成形の基礎知識から実技まで

今年も初任者研修会開催

成形不良の解決策まで指導

工業組合は産業技術センターと共催し12月11日（火）と12月14日（金）・12月18日（火）に各務原市にある成長産業人材育成センターで「プラスチック射出成形初任者研修会」を開催する。

研修は全員参加の座学「知識と実技講習」に続いて、成形機のある人材開発支援センターⅢ棟へ移り、２人１組で「実技講習」を行う。

知識講習は①高分子の基礎②プラスチックの特性③プラスチックの加工法ーで、実技講習は指導を受けながら成形加工を習得してもらう。

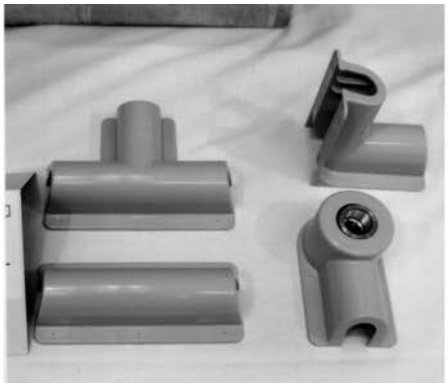
県発明くふう展で２組合員受賞

理事長賞はボタンを活用したカバー

『岐阜県発明くふう展』は10月19日から４日間、岐阜市内のマーサ21で開かれた。審査の結果、組合員企業２社が受賞し、森岡たけ子さん（岐阜市）に工業組合理事長賞を贈った。

受賞者した㈱オンダ製作所は管継手用のカバー「スポットカバーシステム」で中部経済産業局長賞、カイインダストリーズ㈱は世界最小ピッチガード刃を用いたかみそり「敏感肌用フェイスＬ」で岐阜県知事賞に輝いた。理事長賞はプラスチックのスナップボタンを活用した森岡たけ子さんの「毛布用の衿カバー」に贈った。

敏感肌用かみそりフェイスＬ


スポットカバーシステム

毛布用の衿カバー

「元屋敷窯跡」は史跡指定され50年

①16世紀後半から美濃窯（土岐市）で黄瀬戸、瀬戸黒、志野、織部など茶陶を生産。窯跡が史跡指定され50年になる

岐阜県プラスチック工業組合
役員一同

コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長　児　玉　栄　一

本　社　岐阜県安八郡神戸町末守３７７の１
　　電話〈0584〉２７－４１４１
支　店　東京、大阪
営業所　本社
工　場　本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム

株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長　大　野　　實

本社工場　岐阜県羽島郡岐南町野中7丁目129番地　〒501-6004
　　TEL（058）２４６－１３１３
　　FAX（058）２４７－２４１１
名古屋営業所　名古屋市西区城西5丁目5番4号　〒451-0031
　　TEL（052）５２１－９２９６
　　FAX（052）５３２－１６６４
浜松事業所　浜松市西区入野町6056　〒432-8061
　　TEL（053）４４７－２５１１
　　FAX（053）４４７－４２４８

PEARL CHEMICAL PRODUCTS

代表取締役
杉　山　元　彦

各種プラスチック真空成型加工

パール化成品株式会社

本社・工場　〒501-0473　岐阜県本巣市温井２４３-３
　　TEL〈058〉324-9155㈹　FAX〈058〉324-6221
岐阜工場　〒500-8256　岐阜市八坂町４０番地の１
　　TEL〈058〉271-0861㈹　FAX〈058〉275-0970
E-mail　info @ pearl-kaseihin. co. jp
URL　http://www.pearl-kaseihin. co. jp/

MUTO

ムトー精工株式会社

代表取締役　田　中　　肇

本　　社　〒509-0147　岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-60-1
　　TEL(058)371-1100㈹　FAX(058)371-2593
岐阜工場　〒509-0147　岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-93
　　TEL(058)383-8311㈹　FAX(058)383-1516

アテナ工業株式会社

代表取締役社長　下　野　泰　輔

■本社・工場　岐阜県関市下有知5601番地の1
　　TEL(0575)24－2424（代表）
〒501-3217　　FAX(0575)24－0567
URL:http://www.athena-kogyo.co.jp

---

②窯跡の発掘調査で出土した2390点は重要文化財に指定された。

業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計制作

大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役会長
日比勝次

本社工場　大垣市大島町2丁目394番地
〒503-0001　☎(0584)81－1347㈹
精工部　☎(0584)75－0333㈹
　　FAX(0584)81－1350
E-mail：ogaki-pla@okbnet.ne.jp

Sanken

代表取締役 社長
林　敬一郎

岐阜産研工業株式会社

〒501-0555　岐阜県揖斐郡大野町公郷1403番地
TEL.0585-35-2529　URL:http://www.gifusanken.com
FAX.0585-35-2526　E-mail:k-hayashi@gifusanken.com

ISU　Ｅｃｏの輪を技術と製品で広げる

岐阜プラスチック工業株式会社

代表取締役会長　大　松　利　幸

本社／岐阜市神田町9-27 大岐阜ビル12F
☎〈058〉265-2232㈹

関プラスチック工業株式会社
プラスチック製品成形加工・プラスチック精密金型設計製作

代表取締役
洞　田　禮　彰

〒501-3904 岐阜県関市明生町2－7－10
TEL〈0575〉22-4352㈹
FAX〈0575〉24-5131
E-mail：office@sekipla.co.jp

高安株式会社
ECOナイロン樹脂「タナジン®」の製造・販売
再生原着ポリエステル短繊維の製造・販売

代表取締役
社　長　高　安　　彰

岐阜県各務原市蘇原村雨町3-47
〒504-0828 TEL (058)382-2231(代表)
FAX (058)389-4563
URL http://www.takayasu-rf.co.jp/
E-mail: soumubu@takayasu-rf.co.jp

③保存整備された窯跡群。大窯３基と連房式登窯で調査復元された

Hachiman·kasei co.,ltd.　plastic products

取締役会長
髙　垣　美代子

way-be®
sceltevie®
gardens

八幡化成株式会社
本社・工場：〒501-4204 岐阜県郡上市八幡町旭182番地
TEL.0575-67-1175　FAX.0575-65-5150
takagaki-m@hachimankasei.co.jp
http://www.hachimankasei.co.jp

Fukushima Kagaku

代表取締役社長
福島康貴
Yasutaka Fukushima

株式会社フクシマ化学　www.fuku-net.co.jp
〒505-0051 美濃加茂市加茂野町鷹之巣1912-1
tel 0574-26-1138　fax 0574-26-1139

MUTOH

代表取締役社長
武藤　修平

株式会社 武藤化成工業所

本　　社　岐阜県関市武芸川町跡部781　〒501-2605
TEL.0575-46-3711　FAX.0575-46-2285
第二工場　岐阜県関市武芸川町跡部972　〒501-2605
TEL／FAX.0575-46-2720
shuhei-m@mutohkasei.jp
http://mutohkasei.jp/

④５月初旬にはヒトツバタゴが満開。雪が降ったように咲き誇る

SUN THREE

エンジニアリング
プラスチック成形加工
3Dプリンター加工

株式会社川瀬樹脂工業

代表取締役
社　　長　川　瀬　忠　雄

〒503-0011 岐阜県大垣市曽根町1丁目686番地
TEL (0584) 27-2566
FAX (0584) 27-5956
E-mail: t-kawase@sunthree.co.jp
URL: http://www.kawase-pla.com/

プラスチック原料製造販売
委託加工及びカラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役　吉 田 健 司

〒501-3763
岐阜県美濃市極楽寺 １４５１－１
TEL(0575)33-1888 FAX(0575)33-1618
E-mail:mk1451@ceres.ocn.ne.jp

岐阜県のプラスチック
2018年　　第234号

平成30年12月１日発行
発行　岐阜市六条南２丁目11番地１号
(岐阜産業会館４階)
電話(058)　２７２－７１７３
FAX (058)　２７６－１５２５

岐阜県プラスチック工業組合
発行責任者　岩津　文子

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

ノバテック®PP	卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン
ウィンテック®	独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン
ニューコン®	当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO
ニューストレン®	高い溶融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン
ニューフォーマー®	高い溶融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン
ファンクスター®	射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス長繊維強化ポリプロピレン

日本ポリプロ株式会社
〒108-0014　東京都港区芝４丁目14番１号　TEL03-6414-4500

KODAMA

時代のニーズに応える、次世代容器

ハイパーピュアボトル

NEW

ハイパーピュアボトルは、半導体用高純度薬品容器として、
新たな成形技術により生まれた高品質・高精度な多機能容器です。
高いバリア機能を有した高耐久・ハイクリーンな次世代ボトルです。

特徴

ハイクリーン化の実現

原料メーカーと共同開発した原料を使用することによりハイクリーン化を実現致しました。
また、更に当社独自の製造技術革新によりパーティクルを大幅に減らすことが可能になりました。

多層容器の開発

従来のピュアボトルの2層構造に比べ、ハイパーピュアボトルは5～7層構造になっており、最内層樹脂の選択が可能となり、クリーン性とバリア性を同時に実現することが可能となりました。

安心・安全

プラスチック容器であるため、耐久性・耐衝撃性に優れ、破損の心配なく、安心してご使用いただけます。

環境との調和

ガラス瓶に比べ、破損等の心配がなく、軽量であるため取扱い易く、輸送面において環境に優しく、より経済的効果を得られます。

Kodama Plastic co.,Ltd
コダマ樹脂工業株式会社
http://www.d-kjk.co.jp

本　社		〒503-2393	岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL 0584-27-4141
営業拠点	本社営業部	〒503-2393	岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL 0584-27-4992
	東京支店	〒104-0031	東京都中央区京橋1丁目16番10号 TEL 03-3564-5266
	大阪支店	〒530-0001	大阪市北区梅田2丁目5番2号 TEL 06-6341-0015